

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		狂犬病予防・野犬掃討事業		グループ・担当名	環境生活グループ環境衛生担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	00		予算科目	款	04 衛生費
	施策(大)	00			項	01 保健衛生費
	施策(中)	00			目	02 予防費
	施策(小)	00			大目	01 感染等予防対策事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	町の良好な公衆衛生を保ち感染症を予防する。 ・狂犬病の予防のため、畜犬の登録管理を行うとともに予防注射や野犬掃討を実施する。					
事業目的	狂犬病を予防する					
事業の対象	犬を飼っている町民					
実施結果	【実施結果】 定期的畜犬の予防注射実施、野犬掃討					
現状と課題	【現状と課題】 畜犬未登録者と死亡届未提出者への対応					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	358	406	559	368	551	560
国支出金	0	-	0	-	0	-
道支出金	0	-	0	-	0	-
地方債	0	-	0	-	0	-
その他	175	-	432	-	432	-
一般財源	183	406	127	368	119	560
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	358	406	559	368	551	560

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	狂犬病予防注射接種率	目標	%			75	75	80
		実績	%	74.3	74	76		
		達成率	%		98.67	101.33		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	狂犬病予防法、美幌町畜犬取締及び野犬掃とう条例に基づく事業であり、実施主体は町が妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	毎年、獣医師が狂犬病予防集合注射を行うことにより、飼い主の利便性を高め、接種率を高めている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	必要最低限の経費で事業を行っている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状維持のまま実施することが適当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状維持のまま実施することが適当である。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	死亡届を出していない登録者対策の為、狂犬病予防注射の案内書送付をする際に、死亡届の提出を促す文面を記載する							

平成29年度 事務事業評価調査書

1. 事業内容

事務事業名		ごみ処分場維持管理事業		グループ・担当名	環境生活グループ環境衛生担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ			款	04 衛生費
	施策(大)	08 ごみ処理、リサイクルの推進			項	02 清掃費
	施策(中)	01 ごみ処理体制の充実			目	01 塵芥し尿処理費
	施策(小)	02 ごみ処理施設の適正な維持管理			大目録	03 ごみ処分場維持管理事業
事業期間	終期未定					
要求区分	新規		マニフェスト	-		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				経費区分	投資的経費
事業概要	<p>各家庭から収集した生活系一般廃棄物や直接搬入される事業系一般廃棄物の早期安定化・無害化を促進するため、埋立処理を行うとともにごみ処理場の維持管理や周辺の環境整備を行う。平成27年度に第Ⅱ期埋立地が埋立完了となったことから、今後は第Ⅲ期埋立地での埋立処分となる。また、第Ⅱ期埋立地の閉鎖は今後河川残土の搬入状況により検討することとする。</p> <p>・第Ⅰ期埋立処分場：191,000m3(S62~H8) ・第Ⅲ期埋立処分場：97,000m3(H24~H38)</p>					
事業目的	第Ⅲ期埋立地にて埋立処分する					
事業の対象	町内各家庭並びに事業者より排出される一般ごみ					
実施結果・現状と課題	<p>【実施結果】 一般廃棄物収集運搬許可業者並びに直接搬入者等が持ち込む一般廃棄物を適正に処理するため、一般廃棄物処理場の各種機器の修繕、更新を計画的に行う。</p> <p>【現状と課題】 安定したごみの搬入を行えるよう処理場の機器の維持管理を行っている。 第Ⅱ期埋立地の最終覆土は、経費節減の為公共残土を利用することになっているため、集めた残土を他の事業で利</p>					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	112,850	109,032	108,886	109,572	108,143	108,150
国支出金	0	-	0	-	0	0
道支出金	0	-	0	-	0	0
地方債	0	-	0	-	0	0
その他	84	-	80	-	80	80
一般財源	112,766	109,032	108,806	109,572	108,063	108,070
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 (千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	112,850	109,032	108,886	109,572	108,143	108,150

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	ごみ埋立量	目標	t		8,000	8,000	7,900	7,800
		実績	t	7,771	7,304	7,670		
		達成率	%		91.3	95.88		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく事業であり、実施主体は町が妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	施設の維持管理を民間委託し、業務を問題なく遂行している。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	随意契約による継続した維持管理を委託することにより、老朽化した施設に予期せぬ事故が発生した際、豊富な知識により的確に					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状維持のまま実施することが適当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 第2期埋立処分場最終覆土工事見送り			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	特になし							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		浸出液処理施設維持管理等事業		グループ・担当名	環境生活グループ環境衛生担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ		予算科目	款	04 衛生費
	施策(大)	08 ごみ処理、リサイクルの推進			項	02 清掃費
	施策(中)	01 ごみ処理体制の充実			目	01 塵芥し尿処理費
	施策(小)	02 ごみ処理施設の適正な維持管理			大目	03 ごみ処分場維持管理事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			経費区分	投資的経費	
事業概要	埋立処分場から排出される浸出水を水質汚濁防止法や一般廃棄物最終処分場維持管理基準に基づく浄化を行い、処理水を公共水域に放流する。埋立終了後も水質が基準内になるまでは引き続き施設の運営が必要になる。 ・第Ⅰ期・第Ⅱ期埋立処分場分：25m3/日、調整池1,200m3 ・第Ⅲ期埋立処分場分：30m3/日、調整槽2,877.4m3					
事業目的	浸出水を河川放流基準まで浄化する。					
事業の対象	埋立地より排出される浸出水					
実施結果	【実施結果】 第Ⅰ期水処理施設及び第Ⅲ期水処理施設に於いて、適正に処理浄化するため各種機器の修繕、更新を計画的に行う。					
現状と課題	【現状と課題】 水処理施設を適正に維持管理し、浸出水を適正基準内に浄化し河川に放流している。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	10,506	8,386	2,881	2,737	2,891	2,900
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	10,506	8,386	2,881	2,737	2,891	2,900
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	10,506	8,386	2,881	2,737	2,891	2,900

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	放流水の水質基準	目標	可否			可	可	可
		実績	可否	可	可	可		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく事業であり、実施主体は町が妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	施設の維持管理を民間委託し、業務を問題なく遂行している。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	随意契約による継続した維持管理を委託することにより、老朽化した施設に予期せぬ事故が発生した際、豊富な知識により的確に					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状維持のまま実施することが適当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状維持のまま実施することが適当である。			予算反映額 (概算)	0千円	現状維持	
今後の改善点	特になし							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		緑化推進事業		グループ・担当名	環境生活グループ環境衛生担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ			款	04 衛生費
	施策(大)	07 生活環境保全・緑化活動の推進			項	01 保健衛生費
	施策(中)	06 花や緑による景観の向上及び緑化の推進			目	04 環境保全推進費
	施策(小)	03 緑化推進活動の取り組み			大業	02 緑化推進事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	美幌町緑の保全及び緑化の推進に関する条例				経費区分	投資的経費
事業概要	美幌町緑の保全及び緑化の推進に関する条例に基づき指定した保存樹林、樹木の適切な保全を行う。また、その所有者に対し必要な財政援助を行う。					
事業目的	保存樹木の適切な管理を行う					
事業の対象	保存樹木所有者					
実施結果	【実施結果】 管理報償費を支払う					
現状と課題	【現状と課題】 保存樹木に看板を設置していたが、風化して見えなくなっていたり、無くなっている物もあるので整備をする必要がある。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	70	1,998	1,853	1,799	1,955	1,955
国支出金	-	-	-	-	0	0
道支出金	-	-	-	-	0	0
地方債	-	-	-	-	0	0
その他	-	-	-	-	1,000	△1,000
一般財源	70	1,998	1,853	1,799	955	2,955
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	70	1,998	1,853	1,799	1,955	1,955

(見込値)

3. 評価

指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	保存樹木等の指定箇所	目標		8	8	8	8
		実績	8	8	8		
		達成率	%	100	100		
指標2		目標					
		実績					
		達成率	%				
指標3		目標					
		実績					
		達成率	%				
項目	評価の視点	評価	理由				
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	美幌町緑の保全及び緑化推進に関する条例に基づく事業であり、実施主体は町が妥当である。				
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	樹木の所有者に維持管理管理費を支払い、樹木の維持管理を行っている。				
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	所有者は必要最低限の報償費で維持管理をしている。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状維持のまま実施することが適当である。				評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状維持のまま実施することが適当である。		予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	特になし						

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		ごみ収集運搬事業		グループ・担当名	環境生活グループ環境衛生担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ			款	04 衛生費
	施策(大)	08 ごみ処理、リサイクルの推進			項	02 清掃費
	施策(中)	01 ごみ処理体制の充実			目	01 塵芥し尿処理費
	施策(小)	01 分別の徹底に向けた取組と効率的な収集の実施			大業	01 ごみ分別収集関連事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				経費区分	政策的経費
事業概要	各家庭から排出されるごみの収集を実施し、衛生及び環境美化を促進する。 まち育出前講座などにより、ゴミ分別の知識と理解を深め、排出マナーの向上と効率的な収集の実施に努める。					
事業目的	第Ⅲ期埋立地に埋立処分する					
事業の対象	町内の各家庭					
実施結果	【実施結果】 ゴミ収集運搬業者と委託契約を結び、各家庭に訪問収集する					
現状と課題	【現状と課題】 各家庭のごみを適切に訪問回収することができた。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	63,651	66,071	65,424	65,284	65,750	65,750
国支出金	0	-	0	-	0	0
道支出金	0	-	0	-	0	0
地方債	0	-	0	-	0	0
その他	53,991	-	52,555	-	52,757	52,750
一般財源	9,660	66,071	12,869	65,284	12,993	13,000
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	63,651	66,071	65,424	65,284	65,750	65,750

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	ごみ収集量	目標	t			6,800	6,800	6,800
		実績	t	7,771	7,306	7,427		
		達成率	%		107.44	109.22		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく事業であり、実施主体は町が妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	ごみの収集運搬を民間委託し、業務を問題なく遂行している。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	随意契約による継続した収集運搬を委託することにより、安定した収集運搬を行っており経費節減に貢献している。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状維持のまま実施することが適当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状維持のまま実施することが適当である。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	特になし							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		リサイクル事業		グループ・担当名	環境生活グループ環境衛生担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ			款	04 衛生費
	施策(大)	08 ごみ処理、リサイクルの推進			項	02 清掃費
	施策(中)	02 ごみの減量化とリサイクルの推進			目	01 塵芥し尿処理費
	施策(小)	01 ごみの減量化とリサイクルの推進			大目録	01 ごみ分別収集関連事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	容器包装リサイクル法 小型家電リサイクル法			経費区分	政策的経費	
事業概要	資源ごみ等の資源化及び再商品化のため、処理業者等への引き渡しや、廃食用油の石鹼化を行う団体へ財政支援を行う。また、有害ごみである使用済み乾電池、蛍光灯等の処理を行う。					
事業目的	分別回収したごみを、処理業者への引き渡す					
事業の対象	町内各家庭並びに事業者から排出される有害ごみ					
実施結果	【実施結果】 処理業者へ有害ごみの処理を依頼					
現状と課題	【現状と課題】 収集した資源ごみ等を適切に処理することができた。 廃食用油の石鹼化を行う団体が高齢化により事業の継続が難しい。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	1,421	1,781	1,999	1,490	2,082	2,080
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	1,421	1,781	1,999	1,490	2,082	2,080
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	1,421	1,781	1,999	1,490	2,082	2,080

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	BDF製造量	目標	ℓ			2,000	2,000	2,000
		実績	ℓ		95	972.7	1,739	
		達成率	%			48.64	86.95	
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく事業であり、実施主体は町が妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	収集した資源ごみの再利用化や有害ごみの処分を適切に委託処理している。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	必要最低限の経費で適切に処理している。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状維持のまま実施することが適当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状維持のまま実施することが適当である。					予算反映額 (概算)	0千円
今後の改善点	特になし							

平成29年度 事務事業評価調査

1. 事業内容

事務事業名		衛生対策事業		グループ・担当名	環境生活グループ環境衛生担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	00		予算科目	款	04 衛生費
	施策(大)	00			項	01 保健衛生費
	施策(中)	00			目	03 環境衛生費
	施策(小)	00			大事業	01 衛生対策事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	食品衛生の向上のため、食中毒予防に対する普及啓発等を実施する。 北見地方食品衛生協会加盟自治体： 北見市、美幌町、置戸町、訓子府町、津別町					
事業目的	地域における食品による衛生上の管理と、食中毒の予防を図る。					
事業の対象	食品提供者					
実施結果	【実施結果】 普及啓発活動を実施する					
現状と課題	【現状と課題】 特になし					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	50	50	50	50	50	50
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	50	50	50	50	50	50
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	50	50	50	50	50	50

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	負担金支出団体数	目標	団体		1	1	1	1
		実績	団体	1	1	1		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	美幌町は、北見地方食品衛生協会に加盟しており、協会が定めた負担金である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	食中毒予防に対する普及啓発活動を、広域的に行っている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	検討	協会主催による衛生研修会の開催や食中毒予防のパンフレット作成等広域で活動することにより経費の削減している。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状維持のまま実施することが適当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状維持のまま実施することが適当である。			予算反映額 (概算)	0千円	現状維持	
今後の改善点	特になし							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		墓地霊園等管理事業		グループ・担当名	環境生活グループ環境衛生担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ			款	04 衛生費
	施策(大)	07 生活環境保全・緑化活動の推進			項	01 保健衛生費
	施策(中)	07 霊園の維持管理			目	03 環境衛生費
	施策(小)	01 利用状況に応じた霊園の整備			大業	02 墓地・霊園等管理事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	墓地、埋葬等に関する法律				経費区分	政策的経費
事業概要	霊園・墓地使用に対する各種申請・許可事務等を行うとともに、施設内の草刈りや小破修繕等の適切な維持管理を行う。					
事業目的	霊園・墓地の適正な管理運営を行う					
事業の対象	墓地、霊園利用者					
実施結果	【実施結果】 厚生企業組合（平成29年度より）への管理委託と、部落の共同墓地は、自治会に草刈りを依頼する。					
現状と課題	【現状と課題】 特になし					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	2,341	2,565	2,116	2,060	3,005	3,060
国支出金	0	-	0	-	0	0
道支出金	0	-	0	-	0	0
地方債	0	-	0	-	0	0
その他	480	-	390	-	585	600
一般財源	1,861	2,565	1,726	2,060	2,420	2,460
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	2,341	2,565	2,116	2,060	3,005	3,060

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	墓地・墓園数	目標	ヶ所		10	10	11	11
		実績	ヶ所	10	10	10		
		達成率	%		100	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	美幌町墓園等条例に基づく事業であり、実施主体は町が妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	施設の維持管理を民間委託し、業務を問題なく遂行している。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	検討	必要最低限の経費で維持管理している。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状維持のまま実施することが適当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状維持のまま実施することが適当である。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	特になし							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		公害対策事業		グループ・担当名	環境生活グループ環境衛生担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ			款	04 衛生費
	施策(大)	07 生活環境保全・緑化活動の推進			項	01 保健衛生費
	施策(中)	03 公害の防止			目	04 環境保全推進費
	施策(小)	01 関係機関との連携による巡視活動の強化と公害に関する企			大目	01 公害対策事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	町民生活を害する騒音、振動、悪臭等の予防や発生時の適切な処置等を行う。 また、衛生センターが過去に排出した煤煙の汚染負荷量に対する公害健康被害補償を行う。					
事業目的	基準以上の騒音・振動がないように監視					
事業の対象	女満別空港の騒音・振動の影響を受ける地区に住む住民					
実施結果	【実施結果】 測定器を設置し数値を記録する					
現状と課題	【現状と課題】 大空町より騒音計測器を借り測定を行ってきたが、機器の故障により記録が出来ない事があり、今年については全く記録が出来なくなった。大空町は機器の更新を行う予定がない					
事業進捗度	3 取り組んでいるが順調でない	進捗度3又は4の理由	その他	左の具体的な内容	大空町から借りている測定器が故障したが、古い機器のため修繕不能である	

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	90	86	113	104	297	290
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	90	86	113	104	297	290
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 (千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	90	86	113	104	297	290

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	騒音測定回数	目標	回			2	2	2
		実績	回	2	2	0		
		達成率	%		100	50		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点		評価	理由				
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。		妥当	町民の騒音公害の未然予防のため行っている事業と町民の騒音公害健康被害の補償等に関する法律に基づく事業であり、実施主体				
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。		普通	定期的に騒音計測をすることにより、安心感が与えられる。納入した汚染負荷量賦課金が公害健康被害補償に充てられる。				
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。		高い	必要最低限の経費で事業を行っている。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状維持のまま実施することが適当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状維持のまま実施することが適当である。					予算反映額 (概算)	0千円
今後の改善点	騒音測定を行っている自治会と協議し、今後、騒音の騒音測定が必要なのか判断する必要がある。(機器の新規購入の場合：500万円、騒音測定を委託した場合20万円×2回：40万円 検討が必要である)							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		花樹育苗センター管理運営事業		グループ・担当名	環境生活グループ環境衛生担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ			款	04 衛生費
	施策(大)	07 生活環境保全・緑化活動の推進			項	01 保健衛生費
	施策(中)	06 花や緑による景観の向上及び緑化の推進			目	04 環境保全推進費
	施策(小)	01 花による景観づくりの推進			大事業	03 花樹育苗センター管理運
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	各自治会や公共施設へ配布する花苗の育成を行い、町内の緑化や景観向上を図る。					
事業目的	道路や公園を花いっぱいにする					
事業の対象	自治会					
実施結果	【実施結果】 育苗センター業者に委託し、花の育苗を作り自治会等に無料配布する					
現状と課題	【現状と課題】 施設が老朽化しており随時修繕している					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	4,135	4,073	4,398	4,551	4,436	4,436
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	4,135	4,073	4,398	4,551	4,436	4,436
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	4,135	4,073	4,398	4,551	4,436	4,436

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	花苗配布	目標	本		81,000	85,000	85,000	85,000
		実績	本	80,899	82,216	84,360		
		達成率	%		101.5	99.25		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	緑の基本計画に基づく事業であり、実施主体は町が妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	土づくりから育苗まで民間に委託し、安定した花苗の配布を行っている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	必要最低限の経費で事業を行っている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状維持のまま実施することが適当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状維持のまま実施することが適当である。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	安定した花苗作りができるよう努める							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		し尿処理事業		グループ・担当名	環境生活グループ環境衛生担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	04 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり		予算科目	款	04 衛生費
	施策(大)	07 上下水道の整備			項	02 清掃費
	施策(中)	07 汚泥処理の推進			目	01 塵芥し尿処理費
	施策(小)	02 し尿・合併浄化槽汚泥の受入の継続			大業	02 し尿処理事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			経費区分	政策的経費	
事業概要	非水洗化世帯から排出されるし尿の収集、運搬及び浄化槽汚泥の処分を行い、生活環境の保全並びに美化を図る。また、処理については下水処理場によるMICSで行い、その費用を負担する。					
事業目的	し尿の収集					
事業の対象	非水洗化世帯					
実施結果	【実施結果】 し尿収集業者と委託契約を結び、し尿を収集する					
現状と課題	【現状と課題】 し尿の収集、運搬、処理を適正に行うことができた。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	29,845	30,535	33,177	32,233	32,592	32,600
国支出金	0	-	0	-	0	0
道支出金	0	-	0	-	0	0
地方債	0	-	0	-	0	0
その他	8,906	-	9,546	-	8,922	8,900
一般財源	20,939	30,535	23,631	32,233	23,670	23,700
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	29,845	30,535	33,177	32,233	32,592	32,600

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	し尿処理量	目標	kl			1,060	1,060	957
		実績	kl	1,062	1,038	928		
		達成率	%		97.92	87.55		
指標2		目標						
		実績						
指標3		目標						
		実績						
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく事業であり、実施主体は町が妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	ごみの収集運搬を民間委託し、業務を問題なく遂行している。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	随意契約による継続した収集運搬を委託することにより、安定した収集運搬を行い経費節減に貢献している。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状維持のまま実施することが適当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状維持のまま実施することが適当である。			予算反映額 (概算)	0千円	現状維持	
今後の改善点	し尿の収集を継続的に進めるよう努める							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		リサイクルセンター維持管理等事業		グループ・担当名	環境生活グループ環境衛生担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ			款	04 衛生費
	施策(大)	08 ごみ処理、リサイクルの推進			項	02 清掃費
	施策(中)	01 ごみ処理体制の充実			目	01 塵芥し尿処理費
	施策(小)	02 ごみ処理施設の適正な維持管理			大目録	03 ごみ処分場維持管理事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				経費区分	投資的経費
事業概要	各家庭から収集した資源ごみを資源化するため、リサイクル機器の運転及び施設の維持管理を行う。 ・発泡スチロール溶融 ・PETボトル圧縮梱包 ・プラスチック容器包装圧縮梱包 ・びん、缶、ダンボール等分別保管					
事業目的	適正にリサイクルを行う					
事業の対象	家庭及び事業所より排出される資源ごみ及び有害ごみ					
実施結果・現状と課題	【実施結果】 リサイクルセンターに設置されている各種機器（ペットボトル減容機、その他プラ圧縮梱包機、発泡スチロール溶融機）を使用し適正にリサイクルするために修繕、更新等を計画的に行う。 【現状と課題】 リサイクルセンターに設置している機器の点検、修繕を行った。 機器の経年劣化により故障が増えているが、更新には高額な費用がかかる。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	12,372	5,277	2,665	2,929	2,235	2,240
国支出金	0	-	0	-	0	-
道支出金	0	-	0	-	0	-
地方債	6,000	-	0	-	0	-
その他	1,923	-	1	-	1	-
一般財源	4,449	5,277	2,664	2,929	2,234	2,240
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	12,372	5,277	2,665	2,929	2,235	2,240

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	再資源化	目標	t			2,000	2,000	2,000
		実績	t	1,767	1,716	1,500		
		達成率	%			75		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく事業であり、実施主体は町が妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	ごみの収集運搬を民間委託し、業務を問題なく遂行している。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	随意契約による継続した収集運搬を委託することにより、安定した収集運搬を行い経費節減に貢献している。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状維持のまま実施することが適当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状維持のまま実施することが適当である。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	資源物の分別収集に努める							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		自治会連合会衛生部会補助事業		グループ・担当名	環境生活グループ環境衛生担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	01 人を創り、地域力を高めるまちづくり		予算科目	款	02 総務費
	施策(大)	01 町民との協働によるまちづくり			項	01 総務管理費
	施策(中)	03 コミュニティ活動の促進			目	08 住民活動推進費
	施策(小)	01 コミュニティ組織や人材の育成と組織の活動支援			大事業	03 自治会連合会衛生部会補
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	各自治会に衛生部会が設置され、一斉清掃やごみ分別等研修会を通じて、環境美化の指導的立場を担っており、今後も良好な環境保全及び地域的美観を保持していくため、衛生部会の活動に補助する					
事業目的	環境保全と地域的美観の保持					
事業の対象	自治会衛生部会					
実施結果	【実施結果】 不法投棄看板の設置、補修等、継続した活動を行う					
現状と課題	【現状と課題】 衛生部会の主な事業内容が不法投棄看板の新設・補修のみで、新たな事業展開が見られない。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	60	60	60	60	60	60
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	60	60	60	60	60	60
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	60	60	60	60	60	60

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	取組への支援	目標	団体		1	1	1	1
		実績	団体	1	1	1		
		達成率	%		100	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	ゴミの処分が有料化になって以来、不法投棄は継続的な課題で町が取り組まなければならない問題である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	一度不法投棄された場所は、再度捨てられる可能性が高いが、看板を設置したことにより、再発が減少している。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	古くなった看板の修繕を基本に、新たな不法投棄場所が見つかった場合は予算内で新設している。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状維持のまま実施することが適当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状維持のまま実施することが適当である。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	特になし							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		有害鳥獣駆除事業		グループ・担当名	環境生活グループ環境衛生担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	00		予算科目	款	04 衛生費
	施策(大)	00			項	01 保健衛生費
	施策(中)	00			目	02 予防費
	施策(小)	00			大事業	01 感染等予防対策事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	-
事業概要	町の良好な公衆衛生を保ち感染症を予防する。 ・エキノコックス感染予防のため、キタキツネの駆除を実施する。 ・夏場に発生することが多い有害虫（スズメバチ等）の駆除を実施する。					
事業目的	感染症予防					
事業の対象	町民					
実施結果	【実施結果】 キツネ、スズメバチの駆除					
現状と課題	【現状と課題】 猟友会に依頼しているキツネ駆除は予定通り行っているが、衛生職員が対応している住宅街を徘徊しているキツネ駆除については、箱ワナを設置しても捕まらない。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	228	229	247	224	247	272
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	228	229	247	224	247	272
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	228	229	247	224	247	272

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	キツネ駆除	目標	頭			40	40	40
		実績	頭	40	40	40		
		達成率	%	100	100	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	農作物の被害やエキノコックス感染予防のため駆除が必要である					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	猟銃の資格を保有している猟友会に依頼し確実に駆除している。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	必要最低限の経費で事業を行っている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状維持のまま実施することが適当である。					評価結果	
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 箱ワナ1基			予算反映額 (概算)	25千円		拡充
今後の改善点	箱ワナが、狸用のサイズのため親キツネが捕獲できる、大型の箱ワナを購入し対応したい							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		水道未普及地区健康被害防止事業		グループ・担当名	環境生活グループ環境衛生担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ		予算科目	款	04 衛生費
	施策(大)	04 子育て支援の充実			項	01 保健衛生費
	施策(中)	01 次世代育成支援			目	02 予防費
	施策(小)	02 子育て世代への支援			大業	01 感染等予防対策事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	水道未普及地区の地下水汚染による健康被害を予防する。					
事業目的	健康被害を予防					
事業の対象	水道未普及地区に住み地下水を飲用している住民					
実施結果	【実施結果】 浄水器設置や水質検査の費用の補助					
現状と課題	【現状と課題】 地下水汚染の例が無く、補助を希望される方が0件である。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	0	0	0	0	457	457
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	0	0	0	0	457	457
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	0	0	0	0	457	457

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	浄水器設置及び水質検査事業補助金	目標	戸			1	1	1
		実績	戸	0	0	0		
		達成率	%		0	0		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	水道未普及地区に対する事業であり、町が取り組まなくてはならない問題である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	健康被害の防止につながる。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	決められた基準により補助金を交付している。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状維持のまま実施することが適当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状維持のまま実施することが適当である。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	特になし							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		墓地霊園改修等整備事業		グループ・担当名	環境生活グループ環境衛生担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ			款	04 衛生費
	施策(大)	07 生活環境保全・緑化活動の推進			項	01 保健衛生費
	施策(中)	07 霊園の維持管理			目	03 環境衛生費
	施策(小)	01 利用状況に応じた霊園の整備			大事業	02 墓地・霊園等管理事業
事業期間	2年度		平成28年度～平成31年度			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	墓地、埋葬等に関する法律				経費区分	投資的経費
事業概要	<p>霊園・墓地使用に対する各種申請・許可事務等を行うとともに、施設内の草刈りや小破修繕等の適切な維持管理を行う。</p> <p>びほろ霊園の雨水処理流末の沈砂池2箇所が土砂に埋まり、機能が著しく低下しているため浚渫を行う。また、霊園駐車場の駐車区画線が消えているので再整備を行う。</p> <p>びほろ霊園の第Ⅲ期拡張は実施設計が完了しているが、近年の新規利用者の減少により拡張を延期している。現在美</p>					
事業目的	<p>沈砂池の浚渫</p> <p>駐車場の駐車枠整備</p> <p>160区画の増設</p>					
事業の対象	墓地、霊園利用者					
実施結果	【実施結果】 町内業者への工事発注					
現状と課題	【現状と課題】 霊園全体が、墓守がいなくなり墓じまいによる返還が増加している。美幌霊園も返還が続いており、拡張工事が延伸になっている。					
事業進捗度	3 取り組んでいるが順調でない	進捗度3又は4の理由	事業延期	左の具体的な内容	美幌霊園第Ⅲ期拡張工事	

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	0	11,998	0	0	0	0
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	0	11,998	0	0	0	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 (千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	0	11,998	0	0	0	0

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	霊園造成工事	目標	箇所			1	1	0
		実績	箇所			1	0	
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	美幌町墓園等条例に基づく事業であり、実施主体は町が妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	焼骨の埋蔵を希望する方に、区画を提供できる。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	必要最低限の区画を造成する。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 縮小 ○ 休止・廃止 新規埋蔵希望者が減っており、また、墓じまいによる区画の返還が増えていることから、造成工事を延期している。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 縮小 ○ 皆減 現状維持のまま実施することが適当である。			予算反映額 (概算)	0千円		縮小
今後の改善点	美幌霊園拡張工事の規模縮小又は取りやめの判断が必要である							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		資源ごみ収集運搬事業		グループ・担当名	環境生活グループ環境衛生担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ		予算科目	款	04 衛生費
	施策(大)	08 ごみ処理、リサイクルの推進			項	02 清掃費
	施策(中)	01 ごみ処理体制の充実			目	01 塵芥し尿処理費
	施策(小)	02 ごみ処理施設の適正な維持管理			大業	01 ごみ分別収集関連事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	容器包装リサイクル法 小型家電リサイクル法			経費区分	政策的経費	
事業概要	各家庭から排出される資源ごみの収集を実施し、衛生及び環境美化を促進するとともにリサイクルを推進、ごみの減量化や資源の再利用を図る。 資源ごみ等（月1回）・その他プラ（月2回）					
事業目的	適正にリサイクルを行う					
事業の対象	家庭から排出される資源ごみ					
実施結果	【実施結果】 収集委託業者と契約を結び、各家庭から資源ごみを収集運搬する					
現状と課題	【現状と課題】 各家庭の資源ごみを適切に訪問回収することができた。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	34,801	35,456	35,142	35,102	35,709	35,750
国支出金	0	-	0	-	0	0
道支出金	0	-	0	-	0	0
地方債	0	-	0	-	0	0
その他	2,201	-	6,678	-	7,429	7,400
一般財源	32,600	35,456	28,464	35,102	28,280	28,350
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	34,801	35,456	35,142	35,102	35,709	35,750

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	資源ごみ収集量	目標	t		1,800	1,800	1,800	1,800
		実績	t	1,767	1,716	1,500		
		達成率	%		95.33	83.33		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	容器包装リサイクル法に基づく事業であり、実施主体は町が妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	資源ごみの収集運搬を民間委託し、業務を問題なく遂行している。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	随意契約による継続した収集運搬を委託することにより、安定した収集運搬を行っており経費節減に貢献している。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状維持のまま実施することが適当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状維持のまま実施することが適当である。					予算反映額 (概算)	0千円
今後の改善点	継続して資源ごみの回収ができるよう努める							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		指定ごみ袋売りさばき事業		グループ・担当名	環境生活グループ環境衛生担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	00		予算科目	款	04 衛生費
	施策(大)	00			項	02 清掃費
	施策(中)	00			目	01 塵芥し尿処理費
	施策(小)	00			大目録	01 ごみ分別収集関連事業
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	ごみの量に応じた負担の公平化(従量による処理手数料)を図るとともに、ごみの減量・分別・リサイクルを推進し、ごみ処理経費の軽減や環境負荷に対する意識の高揚を図る。					
事業目的	町内の多くの店舗で販売することで、町民の利便性を図る。					
事業の対象	町民の各家庭					
実施結果	【実施結果】 有料、ボランティアゴミ袋の作成					
現状と課題	【現状と課題】 売りさばきを行っている商工会議所に保管場所が無く、作製したゴミ袋を旧美中に仮保管し、必要に応じ衛生担当職員が2t車で数回に分けて商工会議所まで運搬している					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	21,018	9,917	11,066	10,030	10,690	10,690
国支出金	0	-	0	-	0	0
道支出金	0	-	0	-	0	0
地方債	0	-	0	-	0	0
その他	21,018	-	11,066	-	10,690	10,690
一般財源	0	9,917	0	10,030	0	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	21,018	9,917	11,066	10,030	10,690	10,690

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	売り払い枚数	目標	枚		660,000	650,000	645,000	640,000
		実績	枚	654,460	643,500	616,010		
		達成率	%		97.5	94.77		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく事業であり、実施主体は町が妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	ゴミ袋の作製、販売を民間委託し、安定した売りさばきを行っている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	必要最低限の経費で事業を行っている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状維持のまま実施することが適当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状維持のまま実施することが適当である。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	特になし							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		ごみ処分場改修整備事業		グループ・担当名	環境生活グループ環境衛生担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ		予算科目	款	04 衛生費
	施策(大)	08 ごみ処理、リサイクルの推進			項	02 清掃費
	施策(中)	01 ごみ処理体制の充実			目	01 塵芥し尿処理費
	施策(小)	02 ごみ処理施設の適正な維持管理			大事業	03 ごみ処分場維持管理事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	投資的経費
事業概要	一般廃棄物収集運搬事業許可業者及び直接搬入者等が持ち込む一般廃棄物を適正に処理するため、一般廃棄物処理場の各機器の修繕、更新を計画的に行う。					
事業目的	第Ⅲ期埋立地に埋立処分する。					
事業の対象	町内各家庭及び事業所から排出される一般ごみ					
実施結果	【実施結果】 各機器の修繕及び更新を計画的に行う。					
現状と課題	【現状と課題】 各機器の修繕及び更新を計画的に行った。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	0	0	0	18,932	55,869	50,000
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	0	0	0	18,932	55,869	50,000
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	0	0	0	18,932	55,869	50,000

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	工事発注達成率	目標	%			100	100	100
		実績	%		0	100		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく事業であり、実施主体は町が妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	一般廃棄物の最終処分場として常に受け入れができるよう整備・修繕を行っている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	必要最低限の経費で事業を行っている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 廃棄物処理場排水整備工事の1期工事を行う					評価結果	
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状維持のまま実施することが適当である。			予算反映額 (概算)	50,000千円		現状維持
今後の改善点	継続して工事を発注する							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		浸出液処理施設改修整備事業		グループ・担当名	環境生活グループ環境衛生担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ		予算科目	款	04 衛生費
	施策(大)	08 ごみ処理、リサイクルの推進			項	02 清掃費
	施策(中)	01 ごみ処理体制の充実			目	01 塵芥し尿処理費
	施策(小)	02 ごみ処理施設の適正な維持管理			大業	03 ごみ処分場維持管理事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	投資的経費
事業概要	第Ⅰ期水処理施設及び第Ⅲ期水処理施設において、適正に処理浄化するため各種機器の修繕及び更新を計画的に行う。					
事業目的	浸出水を河川放流基準まで浄化する。					
事業の対象	埋立地から排出される浸出水					
実施結果	【実施結果】 適正に浄化処理するため、各種機器の修繕及び更新を計画的に行う。					
現状と課題	【現状と課題】 各機器の修繕及び更新を計画的に行った。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	0	0	0	7,018	0	0
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	0	0	0	7,018	0	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	0	0	0	7,018	0	0

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	工事発注達成率	目標	%			100	100	100
		実績	%			100		
		達成率	%			100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく事業であり、実施主体は町が妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	水処理施設を適正に維持管理し、浸出水を適正基準内に浄化し河川に放流している。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	必要最低限の経費で事業を行っている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状維持のまま実施することが適当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状維持のまま実施することが適当である。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		リサイクルセンター改修整備事業		グループ・担当名	環境生活グループ環境衛生担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ		予算科目	款	04 衛生費
	施策(大)	08 ごみ処理、リサイクルの推進			項	02 清掃費
	施策(中)	02 ごみの減量化とリサイクルの推進			目	01 塵芥し尿処理費
	施策(小)	01 ごみの減量化とリサイクルの推進			大業	03 ごみ処分場維持管理事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	投資的経費
事業概要	リサイクルセンターに設置されている各種機器（ペットボトル減容機、その他プラ圧縮梱包機、発泡スチロール溶融機）を使用し適正にリサイクルするために修繕及び更新を計画的に行う。					
事業目的	適正にリサイクルを行う。					
事業の対象	家庭及び事業所より排出される資源ごみ及び有害ごみ					
実施結果	【実施結果】 適正にリサイクルするために修繕及び更新を行う。					
現状と課題	【現状と課題】 施設の老朽化のため修繕箇所が増えている					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	0	0	0	2,589	5,072	0
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	0	0	0	2,589	5,072	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	0	0	0	2,589	5,072	0

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	工事発注達成率	目標	%			100	100	100
		実績	%			100		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	容器包装リサイクル法に基づく事業であり、実施主体は町が妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	回収した資源ごみを常に受け入れができるよう、圧縮梱包機等機器の整備・修繕を行っている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	必要最低限の経費で事業を行っている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状維持のまま実施することが適当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状維持のまま実施することが適当である。			予算反映額 (概算)	0千円	現状維持	
今後の改善点	施設や機器の状況を把握し、適正な時期に修繕を行うよう努める							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		国民健康保険事務		グループ・担当名	環境生活グループ医療給付担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ		予算科目	款	01 総務費
	施策(大)	09 社会保障による支援			項	01 総務管理費
	施策(中)	01 国民健康保険事業の推進			目	01 一般管理費
	施策(小)	01 国民健康保険事業の健全な運営と適正な課税及び収納			大事業	01 国民健康保険事務
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	国民健康保険法			経費区分	投資的経費	
事業概要	国民健康保険被保険者の健康保持および福祉の向上を図るため、医療費の適正化に努め、適正かつ安定的な国民健康保険事業の運営に要する一般事務経費。					
事業目的	安心して医療の給付を受けられるようにする。					
事業の対象	国民健康保険被保険者					
実施結果	【実施結果】 国民健康保険事業運営のための事務経費を負担し適正な事務処理を行う					
現状と課題	【現状と課題】 適正かつ安定的な国民健康保険事業の運営が図られている。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	80,066	77,964	84,486	88,117	85,550	86,000
国支出金	-	-	0	-	0	0
道支出金	-	-	12,258	-	2,705	3,000
地方債	-	-	0	-	0	0
その他	-	-	69,671	-	82,845	83,000
一般財源	80,066	77,964	2,557	88,117	0	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	80,066	77,964	84,486	88,117	85,550	86,000

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	被保険者数	目標	人			5,750	5,300	5,200
		実績	人	5,714	5,508	5,298		
		達成率	%		95.79	99.96		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	国民健康保険法に基づく事業であり、実施主体は町が妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	適正かつ安定的な事業の運営が維持できている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	経費は、適正な運営に要する事務費及び人件費であり、削減の余地はないと考える。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 国民健康保険被保険者の健康保持及び向上のため、医療費の適正化に努め、安定的かつ健全な運営を図っていく。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 適切な予算措置を行う。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	被保険者の負担が増えないように、経費削減に努める。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		健康づくり推進事業		グループ・担当名	環境生活グループ医療給付担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ		予算科目	款	05 保健事業費
	施策(大)	09 社会保障による支援			項	01 保健事業費
	施策(中)	01 国民健康保険事業の推進			目	01 保健衛生普及費
	施策(小)	01 国民健康保険事業の健全な運営と適正な課税及び収納			大業	01 健康づくり推進事業
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	国民健康保険法			経費区分	政策的経費	
事業概要	生活習慣病予防や健康増進などの健康に関する知識を深めるための健康教室や講習会の開催及び国保加入者の脳ドック検診、がん検診、個別予防接種等の負担に要する経費。					
事業目的	健康増進に関する知識を深めてもらい、未然に病気を予防する					
事業の対象	国民健康保険被保険者					
実施結果	【実施結果】 健康づくり教室の開催、予防接種・各種検診(検査)に対する助成					
現状と課題	【現状と課題】 健康教室や講習会を定期的に開催し、脳ドック検診、がん検診、個別予防接種の受診者数が増加している。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	18,078	18,075	23,406	11,266	7,678	7,700
国支出金	-	-	-	-	0	0
道支出金	-	-	-	-	7,138	7,000
地方債	-	-	-	-	0	0
その他	-	-	-	-	540	700
一般財源	18,078	18,075	23,406	11,266	0	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	18,078	18,075	23,406	11,266	7,678	7,700

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	各種検診・予防接種受診者数	目標	人			4,000	4,200	4,700
		実績	人	3,787	4,170	4,653		
		達成率	%		104.25	110.79		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	国民健康保険法に基づく事業であり、実施主体は町が妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	健康づくり教室の開催、予防接種・各種検診に対する助成が維持できている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	町民の健康維持に係る助成を行うことで、適正な経費となっている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 生活習慣病予防や健康増進などの、健康に関する知識を深めるための取組を進めていく。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 適切な予算措置を行う。						
		予算反映額 (概算)		0千円			現状維持	
今後の改善点	健康に関心を持ってもらう機会を増やしていく。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		国民健康保険趣旨普及事業		グループ・担当名	環境生活グループ医療給付担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ		予算科目	款	01 総務費
	施策(大)	09 社会保障による支援			項	04 趣旨普及費
	施策(中)	01 国民健康保険事業の推進			目	01 趣旨普及費
	施策(小)	01 国民健康保険事業の健全な運営と適正な課税及び収納			大事業	01 国民健康保険趣旨普及事
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	国民健康保険法			経費区分	政策的経費	
事業概要	国民健康保険制度等の普及啓蒙に要する経費。 国保財政の改善に資する、ジェネリック医薬品使用促進のための経費。					
事業目的	国民健康制度等の普及啓蒙による被保険者の健康保持増進					
事業の対象	国民健康保険被保険者					
実施結果	【実施結果】 国民健康保険制度、医療費適正化等の周知					
現状と課題	【現状と課題】 保険証郵送の際にジェネリック医薬品希望シールを同封し、年2回、ジェネリック医薬品利用差額通知を送付し、利用の促進を行っている。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	335	332	489	449	489	500
国支出金	-	-	213	-	0	0
道支出金	-	-	0	-	0	0
地方債	-	-	0	-	0	0
その他	-	-	0	-	489	500
一般財源	335	332	276	449	0	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	335	332	489	449	489	500

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
指標1	ジェネリック医薬品利用率	目標	%			46	50	53	55
		実績	%		43.4	45.8	46.2		
		達成率	%			99.57	92.4		
指標2		目標							
		実績							
		達成率	%						
指標3		目標							
		実績							
		達成率	%						
項目	評価の視点	評価	理由						
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	国民健康保険法に基づく事業であり、実施主体は町が妥当である。						
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	ジェネリック医薬品の利用率は、維持できている。						
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	町の医療費適正化を進めることで、適正な経費となっている。						
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 医療費適正化を進めるためにも、ジェネリック医薬品の利用を推進していく。					評価結果		
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 適切な予算措置を行う。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持	
今後の改善点	適正な医療受診のため、重複・頻回受診や多剤投与者を減らしていく。								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		特定健康診査等事業		グループ・担当名	環境生活グループ医療給付担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ		予算科目	款	05 保健事業費
	施策(大)	09 社会保障による支援			項	02 特定健康診査等事業費
	施策(中)	01 国民健康保険事業の推進			目	01 特定健康診査等事業費
	施策(小)	01 国民健康保険事業の健全な運営と適正な課税及び収納			大事業	01 特定健康診査等事業
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	国民健康保険法			経費区分	政策的経費	
事業概要	40歳～74歳までの国民健康保険加入者が対象。生活習慣病の発生を未然に防ぎ、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者や予備軍を見つけ出し、対象者に生活改善を指導するための健康診査・保健指導に要する経費。					
事業目的	メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者・予備軍の方を見つけ出し、生活改善を指導する。					
事業の対象	40歳～74歳の国民健康保険被保険者					
実施結果・現状と課題	【実施結果】 特定健診を実施し、メタボリックシンドローム該当者・予備軍の方を見つけ出す。 メタボリックシンドローム該当者・予備軍の方に、特定保健指導を行う。 【現状と課題】 特定健診の受診者数が伸び悩んでいるため、まず健診を受けてもらう事が課題。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	9,572	7,456	11,932	9,078	12,035	12,000
国支出金	-	-	1,466	-	0	0
道支出金	-	-	1,394	-	3,170	3,200
地方債	-	-	0	-	0	0
その他	-	-	9,072	-	8,865	8,800
一般財源	9,572	7,456	0	9,078	0	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	9,572	7,456	11,932	9,078	12,035	12,000

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	特定健診受診者数	目標	人		1,400	1,400	1,400	1,400
		実績	人	1,360	1,068	1,062		
		達成率	%		76.29	75.86		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	国民健康保険法に基づく事業であり、実施主体は町が妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	特定健診の受診者数は、ほぼ維持できている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	健康診査・保健指導を町が行うことにより、適正な経費となっている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 特定健診受診率向上のため、健康診査の重要性を理解してもらい、健康に関心を持ってもらう。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 適正な予算措置を行う。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	特定健診の、未受診者を減らしていく。							

平成29年度 事務事業評価調査書

1. 事業内容

事務事業名		後期高齢者医療事務		グループ・担当名	環境生活グループ医療給付担当	
				評価者名	民生部長 高崎 利明	
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ			款	01 総務費
	施策(大)	09 社会保障による支援			項	01 総務管理費
	施策(中)	02 高齢者医療制度の推進			目	01 一般管理費
	施策(小)	01 後期高齢者医療保険制度の推進			大業	01 後期高齢者医療事務
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	後期高齢者医療制度事業に係る消耗品等一般事務費、職員1名分の人件費、後期高齢電算システムに要する費用、保険証の交付等市町村事務に要する費用					
事業目的	後期高齢者医療被保険者が安心して保険給付を受けられるようにする。					
事業の対象	後期高齢者医療被保険者					
実施結果	【実施結果】 後期高齢者医療制度事務運営のための事務経費を負担し適正な事務処理をおこなう。					
現状と課題	【現状と課題】 適正かつ安定的な後期高齢者医療の事務運営が図られている。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	11,412	9,046	10,584	8,440	9,916	9,900
国支出金	-	-	0	-	702	700
道支出金	-	-	0	-	0	0
地方債	-	-	0	-	0	0
その他	-	-	10,584	-	9,214	9,200
一般財源	11,412	9,046	0	8,440	0	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	11,412	9,046	10,584	8,440	9,916	9,900

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	被保険者数	目標	人		3,500	3,600	3,650	3,700
		実績	人	3,481	3,577	3,591		
		達成率	%		102.2	99.75		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	健康保険法に基づく事業であり、実施主体は、町が妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	適正かつ安定的な事業の運営が維持できている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	経費は、適正な運営に要する事務費及び人件費であり、削減の余地はないと考える。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 後期高齢者医療被保険者が安心して保険給付を受けられるよう安定的かつ健全な運営を図っていく。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 適正な予算措置を行う。			予算反映額 (概算)	0千円	現状維持	
今後の改善点	経費削減に努める。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		後期高齢者医療保険料徴収事務		グループ・担当名	環境生活グループ医療給付担当		
				評価者名	民生部長 高崎 利明		
総合計画	基本目標	02 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづ			予算科目	款	01 総務費
	施策(大)	09 社会保障による支援				項	02 徴収費
	施策(中)	02 高齢者医療制度の推進				目	01 徴収費
	施策(小)	01 後期高齢者医療保険制度の推進				大事業	01 後期高齢者医療保険料徴
事業期間	単年度						
要求区分	継続		マニフェスト	-			
根拠法令等					経費区分	政策的経費	
事業概要	後期高齢者医療保険料の徴収に係る経費 納付書等印刷費、口座振替及びコンビニ収納手数料						
事業目的	後期高齢者医療被保険者から遅延なく納付してもらう。						
事業の対象	後期高齢者医療被保険者						
実施結果	【実施結果】 適正に保険料を徴収するための経費負担						
現状と課題	【現状と課題】 保険料収納率は、目標である100%には届かない状況が続いている						
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容			

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	327	334	321	268	321	330
国支出金	-	-	0	-	0	0
道支出金	-	-	0	-	0	0
地方債	-	-	0	-	0	0
その他	-	-	321	-	321	330
一般財源	327	334	0	268	0	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	327	334	321	268	321	330

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	収納率	目標	%		99.55	100	100	100
		実績	%	99.92	99.91	99.89		
		達成率	%		100.36	99.89		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	健康保険法に基づく事業であり、実施主体は、町が妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	適正かつ安定的な事業の運営が維持できている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	適正に保険料を徴収する事を町が行うことで、適正な経費となっている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 保険料収納率100%の目標に向けて、早めの対応に取り組んでいく。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 適切な予算措置を行う。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	口座振替を推奨していく。							